

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

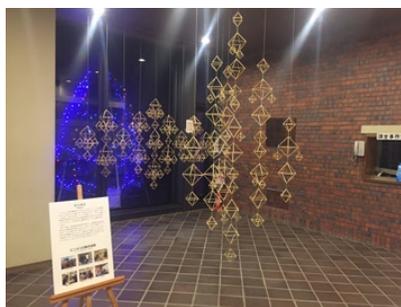
わたしは弱いときにこそ強いからです。

【奨励者からのメッセージ】

私たちは「強く」なりたいと思うものです。ところが、今日の聖書箇所では「弱い」ときにこそ「強い」というのです。これは Paradox (逆説) です。考えの転換です。「弱い」ということは身体的・精神的・社会的・経済的な力がなく、貧しく、人の目に弱々しく見えるということだと考えられます。パウロは三度「トゲ(弱さ)を離れ去らせてください」と祈りました。この祈りに神様は「わたしの恵みはあなたに十分である・・・」と答えます。後に、パウロは「わたしは弱い時にこそ強い」と語るのです。私たちは自分の弱さを知り、認めることから勇氣ある強い人になれる道が開かれるということでしょう。

【クリスマスの案内】

クリスマス礼拝において聖歌隊による合唱を行います。クリスマスの讃美歌と一緒に歌ってくださる学生と教職員を募集しています。礼拝後にオルガン前で練習しますので、ぜひともご参加ください。そして、クリスマスの準備期間であるアドヴェント(待降節)に向けて、リースとヒンメリの飾り付けを行います。ヒンメリは循環農学類の義平研究室(義平大樹先生)が麦藁をご提供くださり、宮崎研究室(宮崎早花先生)がヒンメリの作成をしてくださいます。また、リースの作成は毎年一年生を中心に一緒に作成してくださる学生を募集しています。今年のアドヴェントは12月1日(日)から始まりますので、次週の週報で案内をして、リースの作成日程を学生と決めたいと思います。ぜひご協力ください。



【次回の大学礼拝】2019年11月19日(火)10時40分

次回の大学礼拝はキリスト教学の高橋優子先生が奨励をご担当なさいます。みなさん、どうぞご出席ください。

【前回の大学礼拝】2019年11月5日(火)

学生：261名 教職員ほか：8名 合計：269名

【大学礼拝週報】 2019年度 第20号 (前学期第7号)

2019年11月12日(火) 午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博(宗教主任)
奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員)
讃美指導 相原晴伴(循環農学類教員)

前 奏 「我らみなひとりの神を信ず」(J.C.バッハ作曲)
讃美歌 讃美歌21 352番(来たれ全能の主)
聖 書 コリントの信徒への手紙二12章5-10節

祈 り
さん び 酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「Paradox——弱いときにこそ強い」
朴 美愛(酪農学園宗教主事)

讃美歌 讃美歌21 484番(主われを愛す)

報 告
後 奏 「神のみむねは常に行なわれ」(グループナー作曲)

【本日の聖書】コリントの信徒への手紙二12章5-10節

5 このような人のことをわたしは誇りましょう。しかし、自分自身については、弱さ以外には誇るつもりはありません。6 仮にわたしが誇る気になったとしても、真実を語るのだから、愚か者にはならないでしょう。だが、誇るまい。わたしのことを見たり、わたしから話を聞いたりする以上に、わたしを過大評価する人がいるかもしれないし、7 また、あの啓示された事があまりにもすばらしいからです。それで、そのために思い上がることのないようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。8 この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。9 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。10 それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、